

3000万人署名 各地でこんな取組みが——⑪

石川県 「安倍改憲NO！市民アクション・いしかわ」は8月19日、金沢駅頭でスタンディング、10数人が参加した。金沢市内のカトリック教会でグループをつくった女性が初めて参加し、「ピース9アンジェリー（天使の意）」のノボリを立てた。署名した市民や観光客から、「こんな取組みは知らなかった」、「がんばって」などと激励もされた。

広島県 「戦争させない・9条壊すなヒロシマ総がり行動実行委員会」は8月25日、3000万人署名運動の全県意見交換会を開催。8月17日に集約した県内の署名数は20万8484人に達した。7月の西日本豪雨で広島県全域にすさまじい被害が生じ、実行委員会や各地の共同行動のメンバーは災害復旧・支援活動にも取り組んでいるが、意見交換会では、半年余の取組みや運動を振り返り、お盆後の8月後半から行動を再スタートさせ、秋の臨時国会に向けて30万人の署名達成を目標とすることを確認。また、三次市では、105回目の街宣が行われた（実行委員会ニュース「安倍9条改憲NO！ひろしま」22号より）。

埼玉県 新座市のさんは、「安倍改憲阻止の3000万署名は、朝鮮半島や東アジアの非核化、平和の潮流を後押しする生命力を持っていると思います。『熱中症にならないで』と冷たいお茶の差し入れ、自分の首から氷を取り出して私の首のタオルに入れてくれた主婦の方に悪いので、真夏日の日中は駅頭署名をやめています。現在1940筆。当面2000筆を目標にと、毎日ひばりヶ丘駅か保谷駅に立っています」。（その後2000人を突破しました。）

東京都 「憲法9条を壊すな！実行委員会」は9月1日、全国に呼びかけられた署名行動週間の初日にお茶の水駅頭で街宣署名行動。雨模様だったが、きれいなプラカードや歌、芝居などで盛り上げた。参加者は31人、署名は1時間で51人。そのあと、有志で翁長知事追悼のスタンディングに、沖縄出身の人が3人も通りかかり、「ありがとう」と言ってくれた。

「9条変えるな！杉並市民アクション」は9月1日16時30分から、荻窪駅南口で駅頭署名活動を11名で実施。17時10分ごろ、激しい夕立があったのでやむなく中止にしたが、わずか、30数分で22筆を達成。また、9月9日に**5回目の戸別訪問による署名活動**を実施。場所は杉並区堀の内3丁目の「都営堀の内3丁目アパート」。292世帯中、在宅は149世帯で署名数は76筆。前日の8日に署名用紙と要請チラシを事前配布していたので、その署名用紙に記入済みの世帯が4世帯あった。参加者は7名。

東京都 カトリックのシスターたちが署名を呼びかける第3回の「SISTERsACT——憲法にラブソングを！」が10月6日（土）午後12時からと15時からの2回、新宿駅西口で行われる。呼びかけは二人のシスターで、共催は「日本カトリック正義と平和協議会」、「日本女子修道会総長管区長会」、「平和を実現するキリスト者ネット」、「平和をつくり出す宗教者ネット」。新宿駅頭で三度、美しい歌声が聞こえることに。なお、第4回目は12月8日（聖母の祝日、日米開戦の日）を予定。

9月1～9日の「週間」の取組みから

青森県 安倍改憲NO!全国3000万人署名青森県民の会は、青森市新町商店街で9月3日から連続署名行動を取り組みました。6日の行動には県九条の会や憲法ネットなどから19人が参加、30分間で31人の署名が寄せられました。掲げた「あなたは戦争に行きますか？子や孫を戦

場に送りますか？」の横断幕は通行人の目を引きました。4日は23人の参加で46人の署名でした。7日の行動では36人が署名しました。

「戦争法廃止を求める三八連絡会」は、9月1日から8日まで毎日2時間連続して八戸市のコープあおもり・るいけ店前で署名を訴え。行動は連絡会参加団体で当番を決め取り組んでいます。4日までに204人の署名が集まりました。最終日の8日までの行動には延48人が参加、寄せられた署名は412人となりました。

秋田県 **秋田九条の会、あきた女性九条の会**などの呼びかけで、JR秋田駅前で9月3日、「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げ3000万人署名を訴えました。

潟上市でも3日、**潟上九条の会**のメンバーらが中心部の県道沿いでプラカードやのぼりを掲げ、「陸上イージスはいらぬ」などと宣伝しました。

宮城県 宮城県内九条の会連絡会は9月4日、仙台市の繁華街で署名行動を取り組みました。この日の行動には21人が参加、同連絡会が作成したチラシを配布し宣伝、30分の行動の中で、署名77人分が寄せられました。

福島県 **福島県九条の会**は9日、九条の会事務局・総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんを講師に講演会を開催。高田さんは北東アジアの平和に向けた激動の情勢をかたり、沖縄県知事選挙や来年の参議院選挙の意義を述べ、「3000万人署名を軸にした運動で、世論を大きくつくるのが決定的に重要」と訴えました。

埼玉県 **安保関連法の廃止をめざすオール埼玉総がかり行動実行委員会**は9日、JR熊谷駅、上尾、大宮の各駅頭で「大宣伝」行動を行いました。3か所の行動には**合計400人が参加し**、署名を訴えました。それぞれの駅頭では、埼玉弁護士会、連合埼玉、埼労連、立憲民主党、日本共産党、民主党、国民民主党、社民党、自由党の代表が訴え（メッセージ含む）ました。

三重県 津市で3日、**憲法を守り生かすみんなの会・津と憲法共同センター・みえ**が呼びかけ宣伝。3000万人署名の協力を呼びかけました。

6日、鈴鹿市の近鉄白子駅前では17人が参加して、署名とシール投票が行われました。投票には学生の参加が目立ち、「憲法への自衛隊書き込み」に賛成3、反対16でした。

長野県 長野市丹波橋島南バス停では3日、**更北九条の会**のメンバーら8人が、「憲法かえずにとめよう戦争への道」との手書きの看板を掲げ、署名を訴えました。

富山県 **安倍9条改憲NO!市民アクションとやま**は9日、「やりぬこう！3000万人署名 9・9県民集会」を開催し、安倍改憲を阻止するために署名目標の達成と当面の沖縄県知事選挙連帯支援を意思統一しました。活動交流では、高教組が取り組んでいる署名簿郵送作戦や地域配布、医療生協が紙芝居で署名を訴えているなどの経験が報告されました。集会には総がかり行動実行委員会高田健共同代表、前川喜平氏、水島朝穂早大教授からメッセージが寄せられました。参加者は75人。

愛知県 **一宮市民アクション**は1日、「安倍9条改憲阻止へ3000万人署名推進の9・1講演大集会」を開催、70人が参加しました。中谷雄二弁護士の「安倍改憲を許さないために今何をすべきか—3000万人署名をめぐる情勢」の講演を受け、経験交流をしました。事務局の行動提起で、月末までに2万人の署名の到達の実現が呼びかけられました。

和歌山県 **憲法九条を守るわかやま県民の会と安倍9条改憲NO!「3000万署名」和歌山市民アクション**は9日、JR和歌山駅前では署名行動を実施。呼びかけは29団体から58人が参加し、85人の署名が寄せられました。

徳島県 **安倍9条改憲 NO!徳島・市民アクション**は1日、徳島駅前です署名行動を行いました。配布したチラシでは「まだまだ続くよ 3000 万人署名」と訴え、のぼりを掲げ宣伝しました。徳島人権・平和運動センター議長の岩生大治さんや戦争をさせない 1000 人委員会事務局長の大西聡さんらが弁士に立ちアピールしました。

九条の会徳島は9日徳島駅前の繁華街で、16人が参加して「まもろう憲法」「ラブ憲法」のプラカードを掲げスタンディングを行いました。

高知県 7日、**高知憲法アクション**と「**こうち総行動**」は学習交流集会を開催。呼びかけ人から、県内の署名が6万3000人となっていることが報告され、9月末に8万人、11月3日までに10万人を目標に取り組むこと、**高知新聞への意見広告**、翁県知事選支援などの課題が提起され、確認されました。「目標1万、到達27%、ねじをまき直してがんばる」(南国市民アクション)、「街頭などで2000人集めた。楽しくやる工夫が大事」(一票で変える土佐の女たち)などの発言がありました。岡田健一高知大学准教授の講演もありました。

熊本県 **安倍9条改憲 NO!全国市民アクション熊本県実行委員会**は1日、熊本市内で交流会を開催、3000万人署名やスタンディング活動に取り組んでいる人たち70人が参加し、活動を交流しました。発言では、憲法問題が真剣に考えられ始めている中だからこそと思われる署名への躊躇が起きている現状を打開する論点や解説をわかりやすくし、宣伝することなどをふくむ新しい発想で目標を達成しようと意思統一しました。

***これらの情報は、個人からのメール、各団体・政党などのニュース、機関紙などで知らされた各地・各団体の動きを編集したもので、具体的な出典や報告者の名前は割愛しています。ご了解をお願いします。**